



生野のために！
あったけのチカラで

顔が見えるまちづくりですべてのひとに出番と居場所を！！



2024年 vol.62
大阪市議員

武なおき 市政報告

武なおき プロフィール 1972年(昭和47年)12月26日生。同志社大学大学院社会学専攻博士課程(前期)修了。生野区社会福祉協議会でソーシャルワーカーとして7年間、多くの課題と向き合う。29歳で2児のシングルファザーに。36歳で再婚。3人目の子育てと義母の介護真っ最中。当事者だからこそ気付くことがあります。「声にならない声」を届けたいと挑んだ選挙は2度落選。落選の度に応援してくださる人が増え心が震えました。現在4期目。一期一会をつなぎます。

武直樹市民協働事務所
mail: take@take-naoki.com
〒544-0015 大阪市生野区巽南1-2-3
☎06-6753-6714

委員会において、質疑を行いました



生野のために！
あったけのチカラで

9/21 民生保健委員会にて、市民からの声(陳情書)に質疑

「大阪市の介護保険料が高い。下げて欲しい」について

現状 大阪市の介護保険料は、基準額で月額8,094円。全国平均6,014円より3割以上高く、市の中では最も高い

武の意見 高額になっている要因が何なのか、改めて確認し、他都市を参考に、負担能力に応じたきめ細かな保険料の設定と低所得者への配慮、を要望。

「市民病院機構による外国人住民に対して差別的取り扱いを改善してほしい」について

現状 医療通訳可能なタブレット端末の配備、3名の対応職員の配置、必要な方には診察時や事務手続きの付き添いや支払い困難な方へは大使館への相談等も行っている。一般の方への診察平均時間の2倍の時間を費やしている。

武の意見 外国人住民であることの差別的対応はないと確認できた。しかし、今回陳情が出ているという事実を踏まえ、更なる体制整備の充実と一人ひとりに寄り添った対応を要望。

10/16 大都市・税財政制度特別委員会にて、横山市長に質問・要望

住民の皆さんが行政に参加、参画できる制度や仕組み、公民協働や連携、コーディネート在り方は？課題は？
区長権限の強化や区シティ・マネージャー制度の到達点は？課題は？

市長返答 令和5年6月によりまとめられた「区政がめざす姿」*1をもとにすすめている。

武の要望 住民自治の拡充に向けては、コーディネートする職員の力量が重要。職員が政策形成しやすい組織づくり、身を削る改革から創る改革、職員の応援を要望。

*1 区政がめざす姿

- 今後の行政区はどうあるべきか？議論がすすんでいない。外部有識者に入って頂き、現状分析と課題の整理をした上で、ブロック化の議論をすすめていくべき。
- 議員の定数削減が決定され、多様な声が届かなくなる。届かなくなった声をどう届けるか？住民自治拡充と都市内分権の議論が必要。
- 複数の区を単位とする行政区常任委員会設置の議論をすすめるべき



2023年10月 武直樹も応援しています！ 大阪市地域子育て支援拠点事業 生野区巽南つどいの広場「いらかっこ」オープン！

「つどいの広場 いらかっこ」

開催場所	大阪市生野区巽南 3-7-31-2F	開所時間	10:00~15:00
電話番号	06-6752-3390	利用料金	無料
開所曜日	月・火・木・金・土 (祝祭日・年末年始を除く)	対象	子育て家庭の親とその子ども



遊び場に限らず、誰かと話したいとき、ちょっと誰かと話したいとき…お子さん(おおむね3歳未満)と一緒に、気軽にご利用下さい。武直樹も応援しています。

生野区の子育て情報マップ

「ここにこいくの ミニ子育てマップ」は、生野区内の親子で遊びにいける場所や子育てについての相談先など、子育てに役に立つ情報を掲載しています。



12月22日/23日

嘉田由紀子さんコーディネートで 齋藤幸平さんと滋賀県高島市へフィールドワーク

テーマは、村落共同体での水と大地にかかる資源管理、コモンと自治。濃密な時間でした。

武直樹は、日々地域の課題解決に向けて住民の皆さんがどのように主体的に参加参画し、そのプロセスを通じてつながりを再構築していくかを模索しています。ソーシャルワーカーとして、市議員として地域住民と一緒に悩み、一緒に何ができるか考え、一緒にそのプロセスを歩むことにこだわっています。最近、「この実践と研究と政策と地方自治をどうつなげるか、実践研究としてまとめたい、次の世代につなげたい」と考えています。今回の現地視察を通じて、こうした視点から視野を広げることができました。

嘉田さんのこれまでの研究、実践、政策について、生活の中に入り、ともに生き、ともに学び、実現していくプロセスやストーリーが理解できました。このプロセスそのものが住民自治の取り組みです。また、今回の視察に同行や研究会で報告をしていただいた仲間の研究者がたくさんおられ、地域や生活の中に入り一緒に研究や活動を通じて地域の皆さんともつながりを構築されていることがよくわかりました。さらに、琵琶湖博物館が住民と研究と政策をつなぐ役割を大きく果たしていることを実感しました。

嘉田さんは琵琶湖博物館を作る構想のところから関わり、知事としてそれを実現し、研究や実践が、この博物館につながっています。そして、構想から、今に至るまで住民の皆さんとの相互交流を大事して、住民の皆さんの参加、参画で運営されていることも素敵です。

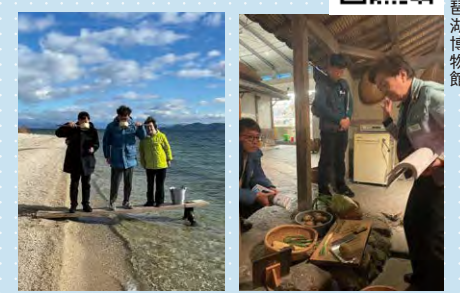
詳しい内容は
こちら



齋藤幸平さん
1987年生まれ。東京大学大学院准教授。2020年出版の「人新生の『資本論』」が50万部超のベストセラーとなり、英語・ドイツ語等14語で翻訳。



生水郷委員会のメンバーから聴き取りとカバタ歩き。みずが湧き出すまち針江。カバタ(川端)は各家庭から湧き出す水を飲料や炊事日常生活に利用しています。この日常の里山の風景を次の時代につなげる取り組みを続けています。



比良浜の嘉田さん橋板で琵琶湖の水をいただく 琵琶湖博物館の中にカバタを再現

12/6 民生保健委員会にて質疑

令和7年中に移転予定の保健所庁舎の改修業者が未だ決まっていないことについて

武の意見 生野区の学校再編についても、業者がきまらないことで、現在、地域、PTAも保護者も区役所も再調整にとでも苦勞している。できる対応は最大限していただいた上で、予定変更の場合の対応も、事前に検討しておく必要がある。

成年後見人への報酬支援について

現状 成年後見人に対する報酬は利用者の財産から充当することになっている。大阪市では、預貯金残高は関係なく、本人が負担できない理由や個別に財産や生活の状況等を確認したうえで、必要な方に助成を行っている。

武の意見 報酬の助成も含め、本人の意思や思いを尊重した支援を行うことが大切。地域包括支援センター等の相談支援機関、民生委員や福祉サービス事業者等、地域の幅広い関係機関や関係者に対して、本人の意思や思いを尊重することの大切さをしっかりと周知し、普及啓発に努めることを要望。

自立支援給付等の利用者負担上限月額決定誤りに対する対応について

現状 障がい福祉サービスにおいて、利用者負担額をご本人に誤って通知。サービス利用された後に、自己負担額の誤りが発覚し、差額を利用者に請求した。市長の指示により、公平性・公正性を勘案しながら検討された。通常利用されているサービス量に応じて、正しい自己負担額をお支払いいただく方向で整理し、丁寧な説明を行っているところ。

武の意見 今回の市民に寄り添おうとしている対応は評価する。最初から「できない」と断るのではなく、小さな声、届きにくい声、現場の声に耳を傾け、何が出来るか一緒に考えてほしい。ひとつひとつの相談から制度やサービスの矛盾点や課題がみえてきます。地域共生社会の実現、地域福祉の推進、多職種協働のネットワークを目指すのであれば、相談から見えてきた矛盾点や課題について何が出来るか一緒に考え、一緒に改善や修正していくプロセスを歩んでほしい。

写真でふりかえる

武直樹の2023年



インスタ
見てね!

4月



4期目当選



生野区役所で
当選証書授与



巽南会館落成式



大阪コリアタウン
歴史資料館開館式

5月



議員生活スタート



民生委員児童委員
協議会懇親会



いくのパークオープン



巽南ふれあいフェスタ

6月



本会議 反対討論



公開セミナー



ボランティア交流会



紫陽花まつり

7月



各地域夏まつり

8月



東京視察



初孫が生まれました

9月



まな防祭! あそ防祭!



東桃谷納涼大会



いくのパーク
「統一マダン」



「地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク」
全国の集い大会



委員会質疑



北巽地区
スリーアイス大会

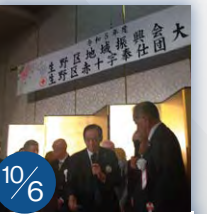
10月



いらかっこ
オープン



生野区
スリーアイス大会



生野区地域振興会・
生野区赤十字奉仕団大会



生野まつり



国会省庁ヒアリング



委員会質疑

11月



認定NPO法人
釜ヶ崎支援機構視察



アブロード
インターナショナルスクール
大阪校開校式典



彌榮神社
ピザパーティー



小路小学校
150周年記念祝賀会



大阪自然史
フェスティバル



いくの未来お店バトル



健康食育フェア



絵本を使った講演会



大阪市農業フェア



オートムパーティー

12月



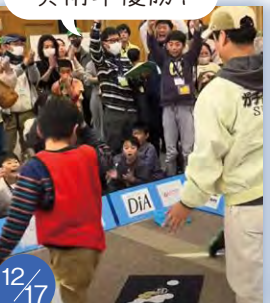
各地域おもちつき



万博会場視察



予算要望



勝ちメン大会



委員会質疑